

文部科学省特別選定
少年、青年、成人、家庭向き

存在を否定され、死ぬ自由を突き付けられ、
それでもなお地域社会に分け入っていく勇敢な呼吸器ユーザーたち。
今までこんな風に彼らを見たことはなかった。
存在理由を獲得していく彼らの姿が逞しく眩しく映っていた。
世界を救うヒーロー・ヒロインに見えてきた。
川口有美子 【作家・日本 ALS 協会理事】

人工呼吸器は、呼吸を助ける道具です。
そこから吹いてくる風が、人と人とをめぐり合わせてくれます。

風は生きよという

追い風は、ときどき前からふいてくる。

もしもあなたが、病気や障害のために身体を動かせなくなったとしたら、どんな人生を想像しますか？

映画が映し出したのは、ふつうの街でふつうの生活を送る人びと。特別なことといえば、呼吸するための道具・人工呼吸器を使用していることくらい。淡々とその生活を映し出し、歩んできた人生を見つめた時、浮かんできたのは日常の尊さ。たくさんの支援が必要だからこそ、多くの人に会え、自由に動くことができないからこそ、生きてあることに感動する。じんわりと心を揺る、人と人とが織りなす物語。

もしもあなたに、思うように身体を動かせない、そんな日が来た時は思い出してほしいのです。映画の中を駆け抜けていた、風の音を。その風に包まれた人と人とが、支え合いながら生きていたことを。



【お問合せ】「風は生きよという」上映実行委員会

〒192-0046 東京都八王子市明神町 4-11-11 シルクヒルズ大塚 1F (全国自立生活センター協議会内)

TEL:042-660-7747 FAX:042-660-7746 Mail:kazewaikiyotoiu@gmail.com

2015 年 / 日本 / 81 分 / ドキュメンタリー www.kazewaikiyotoiu.jp

【人工呼吸器とは？】

障害や病気により、肺を動かす筋力が弱い人たちの呼吸を補助する医療機器です。様々な種類があり、かかりつけの病院からレンタルされています。呼吸の回数や量、リズムなどを細かく設定することで自分に合った呼吸ができます。



2016年2月20日(土)

①10:30 (キッズ大歓迎)

②14:00

札幌市生涯学習センター ちえりあ 6F 講堂

(札幌市 西区 宮の沢 1条1丁目 1-10)

入場料 おひとり (中学生以上) ¥500

共催 医療法人 稲生会

申し込み 医療法人 稲生会 011-685-2799
toseikai@kjnet.onmicrosoft.com

iCare ほっかいどう

※ 小児等在宅医療連携拠点事業